27. 閉塞性脳血管障害における RAG in vertical view の試み

島村　修　井上　康則　松浦　佳子
(京都洛東・1内)

脳 RI アンジオグラフィー (RAG) は，ほとんど anterior view にて施行されている．そこで CT，脳血管写等の所見が明らかな閉塞性脳血管障害患者に，anterior, vertex の両方向より RAG を施行した症例について比較検討した．

^{99m}Tc-Pertechnetate 20～25 mCi を Basillic vein より Saline flush 法にて Bolus として注入，ガンマカメラにて毎1秒に Imaging し，核医学処理システムにて，各左右大脳半球に対称的かつ等面積に定めた関心領域における RI time activity curve を作成し，大脳半球への RI 出現時間 (AT)，最高カウントに達した時間 (PT) およびこの curve より得た1次微分曲線の Positive と Negative Peak 間の時間を Mode of transit time (MTT) として計測した．

症例は一側内頸動脈閉塞3例，一側中大脳動脈閉塞1例，一側総頸動脈1例，両側内頸動脈閉塞1例の計6例で anterior RAG では特に一側内頸動脈の閉塞部位を明瞭に描出したが，両側内頸動脈閉塞の診断ではやや困難であった．Vertex RAG では大脳半球内での低灌流域の所在部位をより明らかに描出した．

MTT は A-RAG では患側平均10.5秒，健側7.7秒，V-RAG では患側9.8秒，健側8.0秒で，AT は ARAG で12.3秒，12.2秒，V-RAG で13.2秒，12.8秒，PT は A-RAG で21.3秒，19.2秒，V-RAG で22.5秒，21.0秒と両方法間でほとんど差を認めなかった．

閉塞性脳血管障害において脳全体の血流動態を把握する上からは，Vertical RAG が Anterior RAG より有利であると考えた．

28. 基底核部小梗塞例における局所脳血流量について

中村　雅一　福永　隆三　高野　隆
(神戸・液済会・脳卒中セ)
中井　一夫　白井　潤　(同・内)
木村　和文　(阪大・1内)

脳梗塞はその閉塞血管から皮質枝群と穿通枝群に分類できる．今回，我々は比較的一定した病的過程と神経症状の出現する穿通枝群すなわち大脳基底核部小梗塞について rCBF を計測し，脳表層部における脳血流への影響を検討した．対象と方法；臨床的に内包症候を認めた脳梗塞11例でうち CT 所見で，大脳基底核部の梗塞として，認められたものは9例であった．発症後12日目より6か月目で ^{133}Xe 内頸動脈注入法を用い，rCBF を測定し，initial slope 法にて rCBF functional image (FI) を作成した．rCBF 施行時期は病理学的に液化吸収期・瘢痕期に相当した．血液組織間の ^{133}Xe 分配係数を 0.87 とし，全例安静時に，又一例を除いて過呼吸時にも計測した．結果と考察；安静時 (平均 CO_2 値 40.0±4.5 mmHg) の mean rCBF 平均値は 45.5±4.8 ml/100 g/min と正常よりやや低値を示した．これは大脳基底核の小梗塞が大脳全体の脳表層部血流に何らかの影響を与えたことを示唆し，さらに rCBF·FI で11例中9例に中心溝近傍と思われる部位で低血流域が認められたことは，皮質脊髄路を始めとする神経投射路における機能解離的な存在を考えさせられる．又，過呼吸 (平均 CO_2 値 33.7±4.0 mmHg) 時の mean rCBF 平均値は 35.6±7.7 ml/100 g/min で全例とも安静時と比べて低下する傾向を示した．又，それらの低血流域は，その周辺部と比べて過呼吸による CO_2 血管反応性が低下している傾向がみられた．

29. 脾原発悪性リンパ腫の2例

中島　秀行　越智　宏暢　井上　佑一
福田　照男　八幡　訓史　小野山靖人
(大阪市大・放)
樽谷　英二　梅山　馨　山下　隆史
(同・1外)

稀れな疾患である脾原発悪性リンパ腫の2症例を，核医学検査を中心に報告した。

症例1は59歳の男性で左季肋部痛を主訴に来院した．肝脾シンチを施行したところ，脾臓は下極に一部 RI 分布を認めるのみで，大きな欠損像を示した．ほぼ同時期の ^{67}Ga シンチでは，欠損部に一致してドーナツ状の異常集積を認めた．手術で内腔に壊死を伴った 15 cm 大の脾の腫瘍を認め，組織像は悪性リンパ腫 (lymphocytic lymphoma) であった．手術前の ^{67}Ga シンチでは脾部以外には異常集積は認めなかったが，3か月後に ^{67}Ga シンチを施行したところ，脾部以外に傍大動脈と左鎖骨上窩リンパ節，肺への ^{67}Ga の集積を認め，X 線学的な

Presented by Medical*Online